

SDGsについて

令和2年11月11日

大阪府 企画室 推進課

1. SDGsとは
2. なぜSDGs
3. 大阪府のSDGsの取組み

1. SDGsとは

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

- 2015年9月国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載。
- **2030年までの国際目標**。発展途上国のみならず、先進国自身も取り組む。
- 持続可能な世界を実現するための**17のゴール(目標)**、**169のターゲット**から構成。
(2017年7月国連総会で、全244(重複を除くと232)の指標が採択。)



(出典) 国連広報センター

SDGsの17のゴール

①貧困	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
②飢餓	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
③保健	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
④教育	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
⑤ジェンダー	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
⑥水・衛生	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
⑦エネルギー	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
⑧経済成長と雇用	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
⑨インフラ、産業化、イノベーション	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。

⑩不平等	各国内及び各国間の不平等を是正する。
⑪持続可能な都市	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
⑫持続可能な生産と消費	持続可能な生産消費形態を確保する。
⑬気候変動	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
⑭海洋資源	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
⑮陸上資源	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
⑯平和	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
⑰実施手段	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

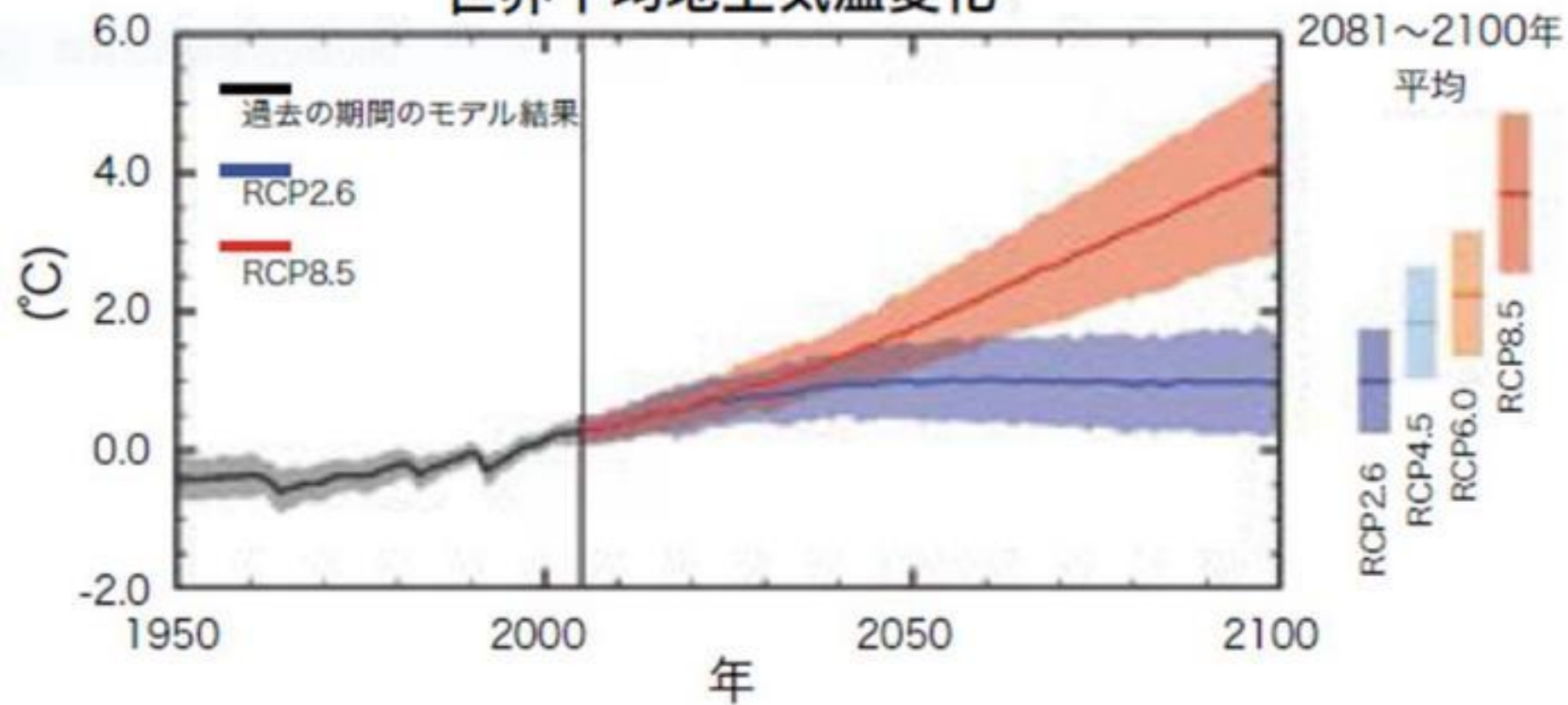
2. なぜSDGs

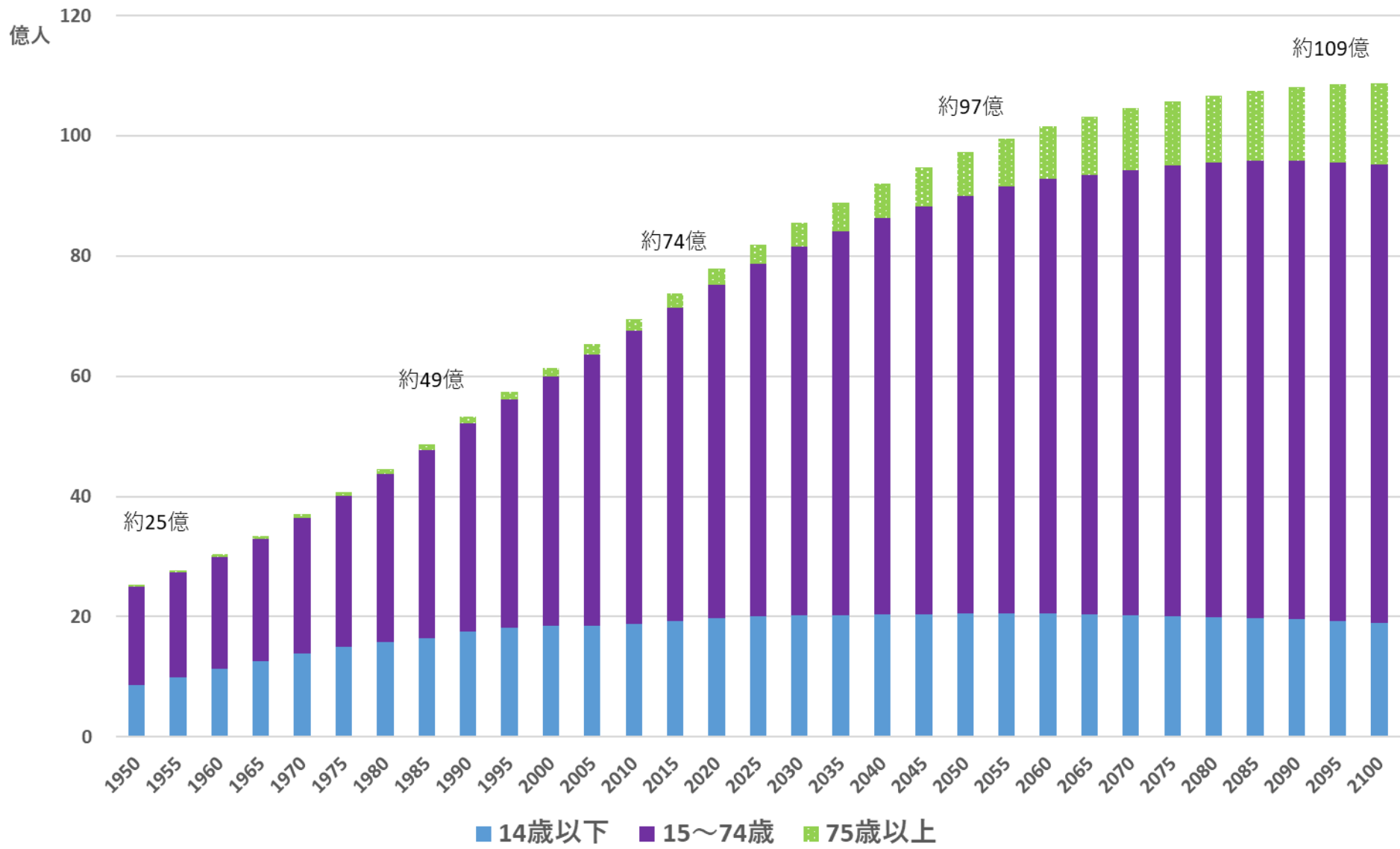
持続可能とは

将来世代のニーズを損なうことなく

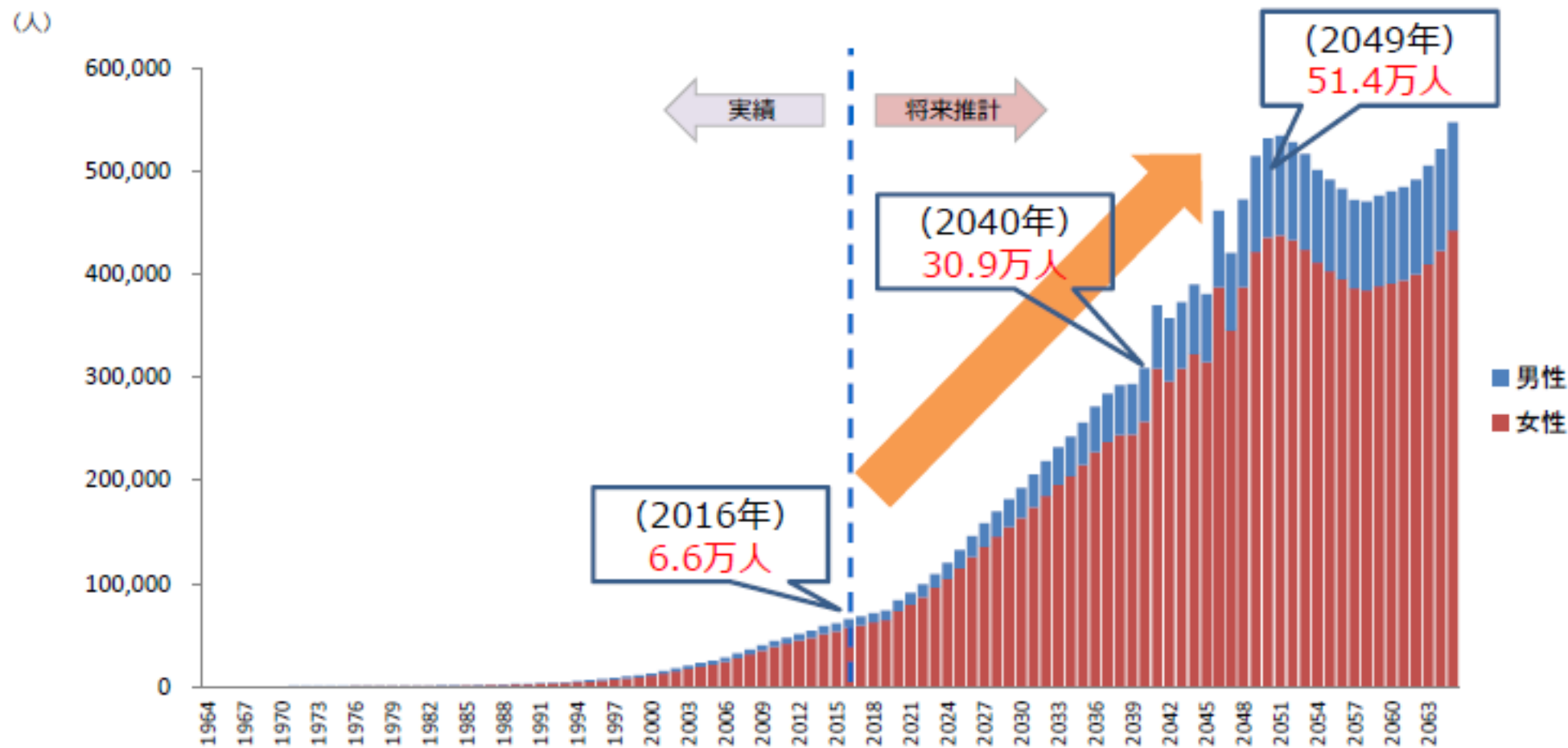
現在の世代のニーズを満たすこと

世界平均地上気温変化





100歳以上高齢者の年次推移



(出所) 厚生労働省「男女別百歳以上高齢者数の年次推移」
「国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年4月推計）」



Seventieth session
Agenda items 15 and 116

Integrated and coordinated implementation of and follow-up to the outcomes of the major United Nations conferences and summits in the economic, social and related fields

Follow-up to the outcome of the Millennium Summit

Draft resolution referred to the United Nations summit for the adoption of the post-2015 development agenda by the General Assembly at its sixty-ninth session

Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

The General Assembly

Adopts the following outcome document of the United Nations summit for the adoption of the post-2015 development agenda:

Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

Preamble

This Agenda is a plan of action for people, planet and prosperity. It also seeks to strengthen universal peace in larger freedom. We recognize that eradicating poverty in all its forms and dimensions, including extreme poverty, is the greatest global challenge and an indispensable requirement for sustainable development.

All countries and all stakeholders, acting in collaborative partnership, will implement this plan. We are resolved to free the human race from the tyranny of poverty and want and to heal and secure our planet. We are determined to take the bold and transformative steps which are urgently needed to shift the world on to a sustainable and resilient path. As we embark on this collective journey, we pledge that no one will be left behind.

The 17 Sustainable Development Goals and 169 targets which we are announcing today demonstrate the scale and ambition of this new universal Agenda. They seek to build on the Millennium Development Goals and complete what they did not achieve. They seek to realize the human rights of all and to achieve gender



2030アジェンダ 本文 35ページ、91段落



SDGsの理念・ポイント

- ①SDGsは世界共通の言語
- ②経済、社会、環境の統合的解決
- ③誰一人取り残さない
- ④横串の視点
- ⑤バックカスティング
- ⑥ルールを決めた必達目標ではなく、各主体がめざすべき目標を作る
- ⑦ステークホルダーとの連携

①SDGsは世界共通の言語

ポイント1

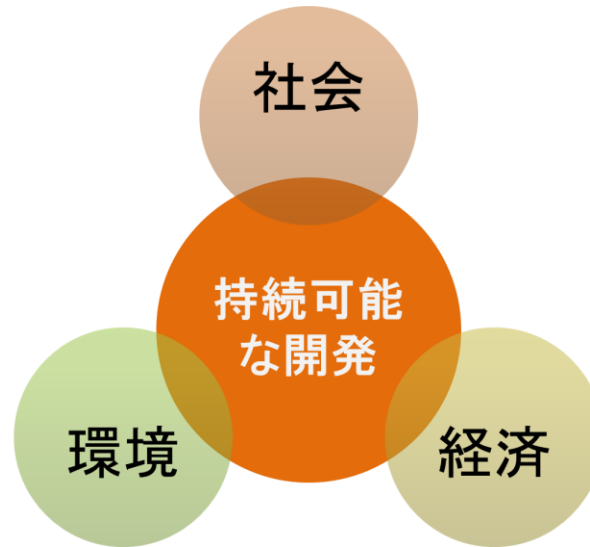
国連の全加盟国で合意。「誰も否定できない」明確な価値とゴールの提示。

ポイント2

17のゴールのアイコンは世界共通の言語。コミットしている社会課題を世界に宣誓。



② 経済、社会、環境の統合による課題解決と新しい価値の創造



ポイント1：社会課題の併記

これまで対立すると考えられていた、「人権と開発」、「環境と経済成長」等の社会課題を併記。
(「より良い社会」というより高次のビジョンの提示)

ポイント2：経済的な視点の包摂

「持続可能性」≡「経済性の担保」⇒ 経済的な要素の必要性を謳う。
(ビジネスなど、自己メリット追及型の課題解決アプローチの許容)

③ 誰一人取り残さない

inclusive=包摂

社会的に弱い立場にある人々をも含め市民ひとりひとり、排除や摩擦、孤独や孤立から援護し、社会（地域社会）の一員として取り込み、支え合う考え方のこと。

ポイント1：野心的（背伸び）

全ての人を救済するというハードルの高い、野心的な理念・ビジョンの提示

ポイント2：支えあいの精神

SDGs達成のために取り組むべき主体は国際社会、地域（region）、国家、地方(local)、企業、教育機関、NPO/NGO、個人。

⇒どんな人間も必ず課題解決のアクターになりうる。

④横串の視点

(1)同時解決

あるゴールの解決のための取組みを、別のゴールの課題解決につなげる



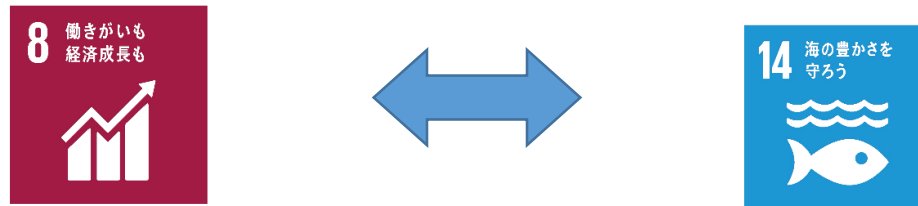
(2)インパクトのベクトルを変える

社会に悪影響を及ぼすアクションに工夫を加え、別のゴールのポジティブアクションに変える



(3)トレードオフの考慮

社会のためにしていることが、他のゴールの視点で見ると悪影響を及ぼす可能性を考慮する



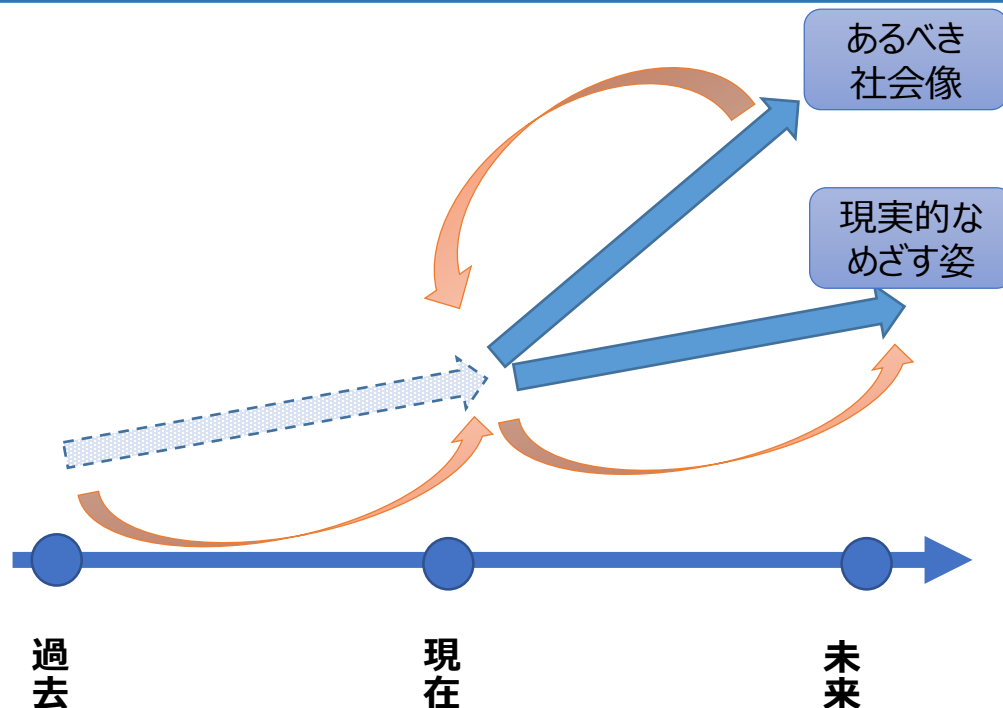
⑤ バックキャストイング

「バックキャストイング」

未来のある時点に目標を設定しておき、そこから振り返って現在すべきことを考える方法

「フォアキャストイング」

過去のデータや実績などに基づき、現状で実現可能と考えられることを積み上げて、未来の目標に近づけようとする方法



ポイント1：社会課題解決のイメージの変革

義務的な行動ではなく、主体的な行動の誘発

ポイント2：「小役人」からの脱却

できない理由を考えるのではなく、よりよくするためのアイデアを出す

⑥ルールを決めた必達目標ではなく、各主体がめざすべき目標を作る

ポイント1：SDGsは2030年にあるべきゴールのみを提示（⇔京都議定書等）

「健康のために走る」、「ラーメンの汁を飲み干す」、「トイレでも手を洗わない」

なんでもSDGs

ポイント2：世界の共通目標と、個人や地域の取組みがつながる

プロジェクトベースで、17ゴール・169のターゲットとのロジックを整理する

(例)

- ・「健康のために走る」→「交通機関を使用しないため石油の使用料が減る」（ゴール13）
- ・「ラーメンの汁を飲み干す」→「ラーメンの汁の廃棄の減少」→「持続可能な海洋資源の構築」（ゴール14）
※健康には悪い？
- ・「トイレで手を洗わない」→「水の節約」→「持続可能な水環境の整備」（ゴール6）

⑦ステークホルダーとの連携

ポイント1：協力の重要性

$$1 + 1 \neq 2$$

$$\Rightarrow 10、100\dots$$

ポイント2：普段は交わることのない出会いの機会の提供



3. 大阪府のSDGsの取組み

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）

◆テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン

“Designing Future Society for Our Lives”

◆サブテーマ：

Saving Lives(いのちを救う)

Empowering Lives(いのちに力を与える)

Connecting Lives(いのちをつなぐ)

◆コンセプト：未来社会の実験場

◆開催期間：2025年4/13～10/13(184日間)

◆開催場所：夢洲（大阪市臨海部）

◆入場者（想定）：約2,800万人

◆経済効果：約2兆円



◆推進体制

大阪府では、2018年4月に知事を本部長とする「**大阪府SDGs推進本部**」を設置

◆役割

- ① 府民や企業、市町村など、様々なステークホルダーに**SDGsを広く知っていただく**
- ② 様々なステークホルダーの取組みをSDGs実現に向けて相互に**つなぎ合わせていく**
- ③ 府**自らもステークホルダーの一員として、SDGsに貢献する**
- ④ 万博を絶好の機会に、**ハード・ソフト両面から「SDGsを具現化した都市づくり」を進める**

◆意義

SDGsの取組みは、大阪が未来に向かって持続的に成長し、府民一人ひとりが「豊かさ」や「安全・安心」を実感できる社会へと発展するための、基盤づくりにつながるもの



SDGsビジョンの策定

- Osaka SDGs ビジョンは、2025年大阪・関西万博の開催都市として、**世界の先頭に立ってSDGsの達成に貢献する「SDGs先進都市」を実現する**ため、大阪がめざすSDGs先進都市の姿を明確にし、府民や企業、市町村など、様々なステークホルダーと共有することで、**オール大阪でSDGsの新たな取組みの創出を図っていく**ことを目的に策定。
- **本ビジョンを指針に、大阪のあらゆるステークホルダーが、SDGsの17ゴールや169のターゲットの達成に向け一緒になって取り組み、SDGs社会を実現していくことは、大阪が、未来に向かって持続的に成長し、府民一人ひとりが「豊かさ」や「安全・安心」を実感できる社会へと発展するための基盤づくりにつながるもの。**
- 2025年に開催される大阪・関西万博のテーマである「**いのち輝く未来社会のデザイン**」は、**SDGsが達成された社会**をめざすもの。大阪では、**万博を「SDGs社会を具現化し世界とともに未来をつくる」絶好の機会として本ビジョンを推進**。2025年に向け、SDGs先進都市としての基盤を整えながら、**万博のレガシーとして「SDGs先進都市」を実現。2030年のSDGsの達成に貢献していく。**

2025年大阪・関西万博に向けて取り組む「重点ゴール」

国際社会全体の課題であるジェンダーや人権、気候変動への取組み

ゴール3
「健康と福祉」



重点
ゴールⅠ

(“いのち”や暮らし、次世代の課題としての取組み)

ゴール1
「貧困」



ゴール4
「教育」



ゴール12
「持続可能な生産と消費」



(「ゴール3」と関連する横断的な課題としての取組み)

ゴール11
「持続可能都市」



重点
ゴールⅡ

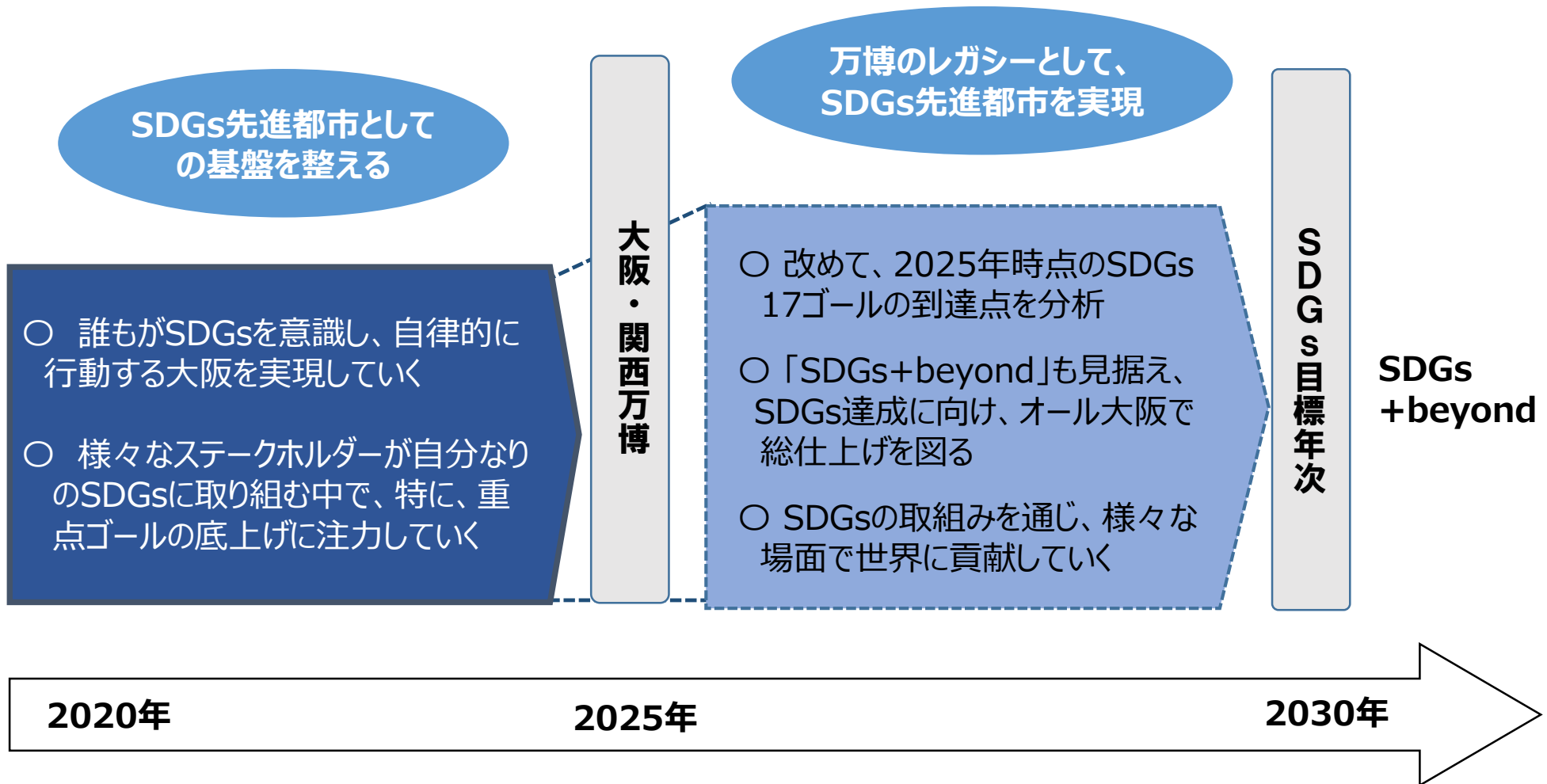
(他のゴールを集約しながら、様々な課題解決にバランスよく貢献)

産業や雇用、イノベーションといった都市としての強みを活かす

府民の
well-being

地域（大阪）の
well-being

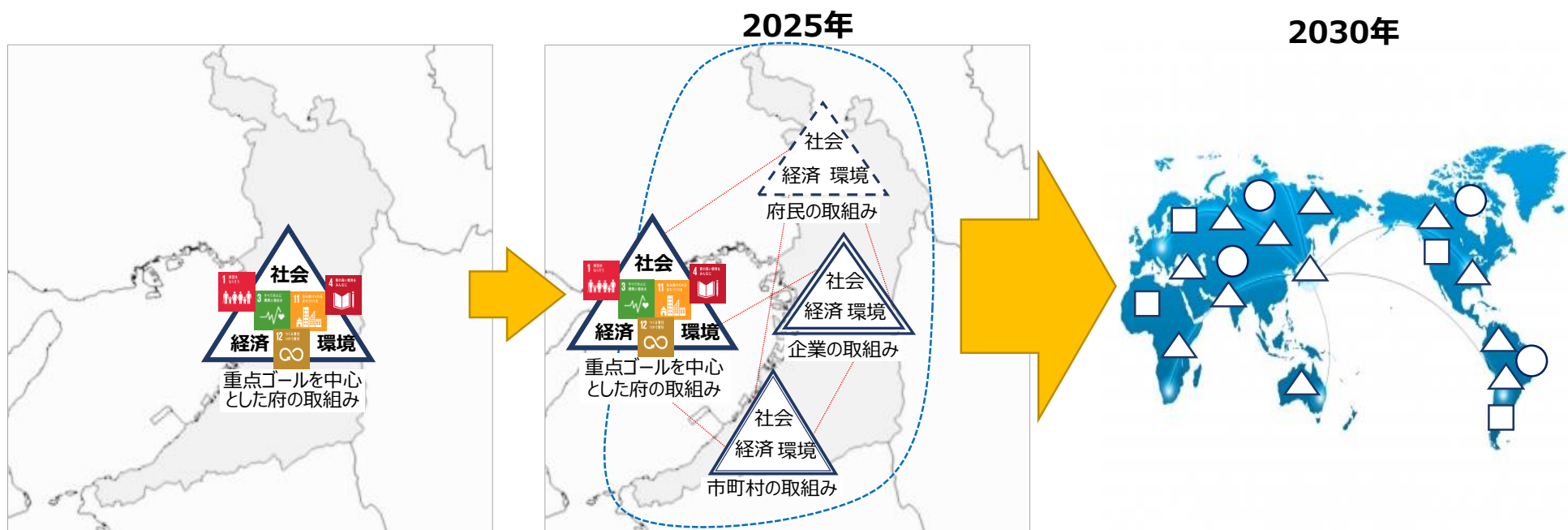
SDGsビジョンの取組み工程



SDGs先進都市をめざして

SDGs先進都市

- = 誰もがSDGsを意識し、一人ひとりが自律的に17のSDGs全ての達成をめざしていくこと
- 様々なステークホルダーが連携・協調し、「大阪」がSDGsを体現したまちを発信していく



万博において、大阪のあらゆるステークホルダーが、会場の内外でSDGsを体現し、行動する姿を世界に発信

日本全体や世界とのつながりの中で、先頭に立って、世界とともにSDGsを達成する